

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 株式会社 フジミンコーポレーテッド  
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 関 敬史  
 (氏名) 石井 和廣

TEL 052-503-8181

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	20,434	△29.8	903	△65.1	1,051	△60.0	673	△51.1
21年3月期第3四半期	29,117	—	2,591	—	2,631	—	1,378	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	23.10	—
21年3月期第3四半期	46.81	46.81

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	46,526	40,759	87.1	1,409.67
21年3月期	45,969	41,451	89.7	1,413.55

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 40,513百万円 21年3月期 41,235百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
22年3月期	—	15.00	—		
22年3月期 (予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,150	△17.5	1,330	△14.1	1,500	△8.9	1,010	68.2	35.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	30,699,500株	21年3月期	30,699,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,959,964株	21年3月期	1,527,962株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	29,161,389株	21年3月期第3四半期	29,446,388株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年11月2日に公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で掲載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位をもって掲載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度についても、百万円単位に組替え表示しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、在庫調整が一段落し、各国政府の政策協調や新興国の経済の回復などにより持ち直しの動きが見られました。国内経済では、エコポイント制導入などの国内経済対策によるデジタル家電製品等の需要の伸びも見られましたが、商品価格下落に伴うデフレ懸念など先行きは依然として不透明な状況であります。

こうした中、当社グループは一丸となって売上の拡大を図るとともに、コスト削減に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高20,434百万円（前年同期比29.8%減）、うち製品売上高20,112百万円（前年同期比29.1%減）となりました。その結果、利益面では、営業利益903百万円（前年同期比65.1%減）、経常利益1,051百万円（前年同期比60.0%減）、四半期純利益673百万円（前年同期比51.1%減）となりました。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、顧客における生産調整の一巡とともに一部の家電製品需要の回復などがあったものの、ラッピング材の売上高は2,310百万円（前年同期比30.3%減）、ポリシング材の売上高は5,762百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

半導体の高集積化・微細化に伴う多層配線プロセスに使用されるCMP（化学的機械的平坦化）向け製品につきましても、半導体デバイスの需要回復の動きはあったものの、売上高は5,193百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、ノートパソコンなどの需要増によりガラス基板向け製品が堅調だったものの、デスクトップパソコンの需要低迷や小口径ディスクへの移行の動きなどもあってアルミ基板向け製品の回復が鈍く、売上高は1,846百万円（前年同期比38.6%減）となりました。

シリコン切断に使用されるワイヤーソー向け製品につきましては、主に欧州において太陽電池市場が低調であったことから売上高は1,413百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

水晶振動子などの研磨に用いられる水晶デバイス向け製品につきましては、引き続き携帯電話向け需要はあったものの市場価格下落の影響を受け、売上高は452百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

溶射材につきましては、鉄鋼・半導体などの業界の低迷もあり、主力であるサーメット溶射材を中心に製品の拡販に努めましたが売上高は634百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

商品につきましては、機械等の売上減により、売上高は322百万円（前年同期比57.1%減）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 研磨材

太陽電池向けシリコン切断用「GC」（炭化けい素質研磨材）の販売は、市場の減速を受け減少いたしました。

シリコンウェハー用ラッピング材「FO」（アルミナ質研磨材）の販売は回復しつつあるものの、前年同期比で減少し、研磨材全体で売上高5,633百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

#### ② 鏡面仕上材

シリコンウェハー用ポリシング材「GLANZOX」（シリカ系鏡面仕上材）、CMPスラリー「PLANER LITE」（シリカ系鏡面仕上材）及びハードディスク基板向けスラリー「DISKLITE」の販売は、一部回復基調にはあるものの、前年同期比では減少し、鏡面仕上材の売上高は13,226百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

#### ③ その他の製品及び商品

主に溶射材の販売が減少したことから、その他製品及び商品の売上高は全体として1,574百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、557百万円増加し、46,526百万円となりました。これは主に、売上債権が増加したことにより流動資産が2,495百万円増加したこと及び有形固定資産が1,635百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,249百万円増加し、5,767百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,278百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、692百万円減少し、40,759百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により株主資本が715百万円減少したこと等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

半導体市場は、在庫調整が一段落し、ようやく持ち直しの動きがみられたことから、当社グループの通期業績の見直しにつきましては、前回予想を上回ることとなりました。

このような状況を踏まえ、平成21年11月2日の決算発表時に公表した平成22年3月期の業績を次のように修正いたします。

詳細は、平成22年2月1日に別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[連結通期業績予想の修正]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	26,430	660	820	500
今回修正予想 (B)	28,150	1,330	1,500	1,010
増減額 (B-A)	1,720	670	680	510
増減率 (%)	6.5	101.5	82.9	102.0
前期(平成21年3月期)実績	34,122	1,547	1,645	600

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,524	10,095
受取手形及び売掛金	9,077	5,912
有価証券	2,303	103
商品及び製品	2,586	3,362
仕掛品	1,028	1,306
原材料及び貯蔵品	1,062	2,575
未収還付法人税等	25	841
その他	395	1,260
貸倒引当金	△247	△197
流動資産合計	27,756	25,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,889	8,297
その他（純額）	8,160	9,387
有形固定資産合計	16,050	17,685
無形固定資産	324	363
投資その他の資産		
投資有価証券	214	184
その他	2,188	2,483
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,394	2,659
固定資産合計	18,769	20,708
資産合計	46,526	45,969

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,692	2,414
短期借入金	198	145
未払法人税等	238	76
賞与引当金	197	368
役員賞与引当金	4	—
その他	1,147	1,159
流動負債合計	5,478	4,164
固定負債		
長期借入金	180	250
退職給付引当金	97	85
その他	11	17
固定負債合計	289	352
負債合計	5,767	4,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,070
利益剰余金	34,623	34,679
自己株式	△2,764	△2,104
株主資本合計	41,682	42,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49	30
為替換算調整勘定	△1,218	△1,193
評価・換算差額等合計	△1,168	△1,162
新株予約権	65	44
少数株主持分	180	172
純資産合計	40,759	41,451
負債純資産合計	46,526	45,969

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	29,117	20,434
売上原価	20,842	15,068
売上総利益	8,275	5,366
販売費及び一般管理費	5,683	4,462
営業利益	2,591	903
営業外収益		
受取利息	72	36
受取配当金	4	2
為替差益	—	18
廃棄物処分益	28	21
助成金収入	—	49
その他	37	40
営業外収益合計	143	168
営業外費用		
支払利息	36	15
為替差損	53	—
その他	13	4
営業外費用合計	103	20
経常利益	2,631	1,051
特別利益		
前期損益修正益	—	34
固定資産売却益	3	1
その他	—	0
特別利益合計	3	36
特別損失		
前期損益修正損	—	2
固定資産除却損	18	44
減損損失	92	—
事業撤退損	102	—
特別退職金	23	—
その他	—	0
特別損失合計	236	47
税金等調整前四半期純利益	2,398	1,040
法人税、住民税及び事業税	815	289
法人税等調整額	171	67
法人税等合計	987	357
少数株主利益	33	9
四半期純利益	1,378	673

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,398	1,040
減価償却費	2,372	1,835
長期前払費用償却額	10	10
株式報酬費用	24	22
事業撤退損失	102	—
減損損失	92	—
前期損益修正損益 (△は益)	—	△34
特別退職金	23	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	49
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7	12
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△357	△171
受取利息及び受取配当金	△76	△38
支払利息	36	15
為替差損益 (△は益)	74	11
固定資産売却損益 (△は益)	△3	—
固定資産除却損	18	44
売上債権の増減額 (△は増加)	1,456	△3,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,340	1,255
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△475	2,617
未払金の増減額 (△は減少)	△190	△9
その他	△0	139
小計	4,192	3,645
利息及び配当金の受取額	70	45
補助金の受取額	45	36
利息の支払額	△37	△15
事業撤退による支出	△4	—
事業撤退に伴う収入	—	20
法人税等の支払額	△1,772	△120
法人税等の還付額	—	791
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,493	4,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,000
定期預金の払戻による収入	—	150
有価証券の売却による収入	—	99
有形固定資産の取得による支出	△2,227	△219
有形固定資産の売却による収入	3	—
投資有価証券の取得による支出	△2	—
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△46	△42
その他	△1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,274	△1,010



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△276	56
長期借入金の返済による支出	△82	△70
自己株式の取得による支出	△755	△675
ストックオプションの行使による収入	—	15
配当金の支払額	△1,265	△729
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,382	△1,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△344	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,508	1,928
現金及び現金同等物の期首残高	9,729	10,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,221	12,827

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の研磨材及びその他の製品を製造・販売しておりますが、その他の製品は重要性がないため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,916	4,490	2,582	2,128	29,117	—	29,117
(2) セグメント間の内部売上高	3,383	1,027	204	—	4,615	(4,615)	—
計	23,299	5,517	2,787	2,128	33,732	(4,615)	29,117
営業利益	2,505	152	374	142	3,175	(584)	2,591

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,262	2,589	1,576	1,006	20,434	—	20,434
(2) セグメント間の内部売上高	2,577	464	—	—	3,042	(3,042)	—
計	17,840	3,054	1,576	1,006	23,477	(3,042)	20,434
営業利益又は営業損失(△)	1,455	△122	94	63	1,491	(587)	903

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米……アメリカ      アジア……マレーシア      欧州……イギリス、ドイツ

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（百万円）	4,304	8,431	2,624	15,359
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	29,117
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.8	29.0	9.0	52.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（百万円）	2,200	7,964	1,242	11,407
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	20,434
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	39.0	6.1	55.8

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……アメリカ、カナダ

(2) アジア……台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、韓国、中国

(3) 欧州……ドイツ、イタリア、イギリス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結会計期間において、取締役会決議に基づき、自己株式を442千株（674百万円）取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は1,959千株（2,764百万円）となっております。